

土砂災害について思ったこと

金津中学校

二年

永岡

佳那子

なまが

かなこ

今年四月、熊本で地震が発生し、その後大雨が降りました。その影響で、大きな土砂災害も発生しました。

私はこの熊本の災害の様子を、テレビで見ました。地震後の大雨で、見たこともないくらい、土砂災害の光景に、とても驚きました。また、また、ニュースで、たくさんの人々が、行方不明になったり、セクんだりしたと知り、被害の大きさを改めて感じました。

そこで私は、「土砂災害」についていろいろと調べてみました。日本は、傾斜が急な山が多く、台風や大雨、地震などが多いため、土砂災害が発生しやすい国土環境にあります。過去十年間の土砂災害発生件数は、平均して一年間におよそ一千件だそうです。また、土砂災害が発生するおそれのある危険箇所は、日本全国で約五十三万箇所あるといわれています。とても驚きですよね。だから、砂防えん堤などの施設整備などの対策以外にも、私たちが一人一人が土砂災害に対して日頃から備えてお

が高まったとき、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう防災情報です。三つ目は、土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難するのとです。自分の家の地域に土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しなければなりません。また、土砂災害のみくは、木造の一階で被災しているといえます。どうしても避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中より安全な場所（がけから離れた部屋や二階など）に避難することも大事です。う。そしてこれらのように避難するとき、お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかると、特に移動時間を考えて早めに避難させることが大切です。

私は今日このようにいろいろなことを調べ、土砂災害が起こる前の備えや、起こった後の避難の仕方などを知り、初めて知ったこ

となどもあって、驚いた部分もありました。
これらの知識は、私のように、まだ知らない
という人も多いと思います。だからまずは、
土砂災害での犠牲者を少しでも減らすために、
一人一人が土砂災害について、知識をもつこ
とが大切なのではないかと思いました。
また、熊本地震では多くの行方不明者、犠
牲者が出ました。中には、なかなか行方が分
からなかったという人もいました。この土砂
災害は、とても大きな濁流が流れ、車や家、
人々をのみこんでいきました。その様子をテ
レビで見て、息をのみました。しかし、土砂
災害を含む自然災害は、いつ、どのような形
で起こるか分かりません。だから、事前の備
えや知識をもつことがどれだけ大事かとい
うことが分かります。
私の家は山の上ですが、がけのところにあ
るわけではありません。しかし、今回土砂災
害について調べたことや、熊本地震で起こ
った土砂災害の様子などを見たことで、土砂災

害のおそろしさや、事前の備えの大切さを、深く感じました。だから、私も土砂災害についてこの知識をもち、その知識を広めることで少しでも土砂災害での犠牲者、被害を減らせられたら良いと考えました。また、大きくな^らたう、土砂災害で被災した場所に対して、寄付をしたリボランテイアに行ったりするな^どとして、少しでも役に立てるようなことがあればやりたいと思います。そして、ボランテイアなどの大切さを、身近な人から広めていけると良いな^と思います。